

# 深夜・早朝便 利用希望9割

## 新千歳の実証運航調査

### 新千歳空港の深夜・早朝

が、道の調査で分かった。この結果を踏まえ、道は千歳、苫小牧両市に対し、今年度後半に発着枠の拡大を具体的に提案する。

同日開かれた道議会の新幹線・総合交通体系対策特別委員会で、梶谷大志道議（民主党・道民連合）の質問に答えた。

調査によると、5月5日の往復便搭乗者のうち、深夜・早朝便を「利用したい」と答えた割合は、羽田発新

千歳着便で90・6%、新千歳発羽田着では83・6%に上った。

空港関係者への聞き取り調査では、営業時間を延長した場合に空港ビル内の店舗が採算を確保するため、発着便数をもっと増やす必要があるなどの課題も挙げられた。

新千歳空港の深夜・早朝発着枠については、国内外の航空会社8社が計24便の運航を希望している。

（午後10時～午前7時）の運航枠拡大を目指し、道が5月に実施した新千歳空港―羽田空港の実証運航で、搭乗者の約9割が深夜・早朝便の利用を希望したこと